

年頭所感

新年挨拶



大阪府町村長会会長 中 和博

新年あけましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、希望に満ちた輝かしい初春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

私自身、昨年、大阪府町村長会会長にご推挙いただき、府内町村行政の振興発展のため、微力ながら全力を傾けておりますので、関係各位におかれましては、今年も、従前に増したご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、新しい年を迎えました。昨年は、4人の日本人がノーベル賞を同時受賞されるなど、明るい話題もありましたが、我が国の政治や経済また社会は、混迷する政局（このご挨拶が届く時分には、衆議院の解散総選挙が決まっているのか？）、100年に一度と言われる世界的規模の金融危機と、大幅な景気後退による市民生活への影響、偽装やテロまがいの凶悪な犯罪など、右肩下がりの話題や不安・不満の増嵩する出来事が続出しました。

現在社会は、価値観が大きく変化するとともに多様化しており、また既存の制度や仕組みも負の部分が増積し、行き詰った閉塞感を呈しています。今、新しい社会を形成する変革の時を迎えているのです。私はこのチャンスに、あらゆる部門が改革と創造に取り込まなければ、日本の未来は無いと考えております。

私達の地方自治の世界もそうです。今までのように国や府県に政策もお金もコントロールされ、依存させられてきた仕組みから脱却し、全ての市町村が自主・自立の下に「市町村優先・住民主役の真の地方自治」を確立させなければなりません。そのためには、現在検討されている政府の「地方分権改革推進委員会の答申」や大阪府の「大阪発“地方分権改革”ビジョン（素案）」に期待するとともに、我々として取り組めるものについては、最大限の努力をしてまいります。

また、改革を推進するには強力なリーダーシップの発揮が必要です。今ほど各界リーダーの資質が問われている時はないと思います。米国では、今月の20日に、国民の圧倒的支持を得た弱冠47歳のバラク・オバマ氏が、史上初めてのアフリカ系アメリカ人として大統領に就任します。「チェンジ」「イエス・ウィ・キャン」自信を失いかけていた国民に希望を与えました。今後の彼のリーダーシップと手腕に国民は大いに期待しています。

一方、我が大阪府では、一足先に昨年2月、財政再建を最優先課題に掲げ、現職では全国最年少となる橋下知事が誕生しました。強い個性とリーダーシップを發揮して、過去に経験したことのないスピードで改革を進めており、職員はもとより府民の方々も期待と不安の連続です。それらの過程で“知事の大胆な改革姿勢”に対し“市町村長は抵抗勢力”という構図でマスコミは報道しておりますが、私を含め多くの市町村長は橋下知事の熱意や姿勢を評価しており、今後とも知事とは大いに意見を交換し議論して「地域主権に根ざした大阪」の実現に取り組んでまいります。

これから来年度の予算編成の最終段階に入りますが、特に財政基盤の脆弱な我々町村にとって、経費の節減は限界に達する一方、交付税の減額や税収の落ち込みなどから、サービスをどこまで削れるのか、負担をどこまでお願いできるのか等々、各町村長の悩みは尽きません。しかし、なにくそ、私たちも地域のリーダー「先を見通し・改革を恐れず・責任ある判断」の下に、皆様方の負託に応えてまいりたいと存じます。

おわりに、我々大阪府町村長会は大阪府や市長会、全国町村会等との連携を強化し、住民福祉の向上を目指して全力で取り組んで参りますので、今後ともより一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。

また、本年が素晴らしい年となりますよう心からお祈り申し上げますとともに、皆様方のご健勝とご多幸を祈念いたしまして年頭のごあいさつと致します。